情操教育論　　尾見敦子

授業概要

昔から続いてきた年中行事や年中行事にまつわる伝統芸能、文化的な習慣は、日本人の自然や美に対する感性とともに情操を育んできたといえる。

そこでこの授業では日本の四季折々の行事、子どもの成長や人生の節目を祝う行事とその意味を知り、伝承のわらべうたや昔話などにも、適宜、題材を求めながら、家庭教育・幼児教育における情操教育の方法について考えてみたい。

授業計画

第１回	オリエンテーション
第２回	日本人の季節感：和風月名と二十四節気
第３回	季節感と暦：五節句、陰陽五行説、十干と十二支
第４回	四月（卯月）：花見、灌仏会
第５回	五月（皐月）：八十八夜、端午の節句
第６回	六月（水無月）：田植え、梅雨
第７回	七月（文月）：七夕
第８回	八月（葉月）：お盆
第９回	九月（長月）：お月見、お彼岸
第 10 回	十月（神無月）：十三夜、紅葉狩り
第 11 回	十一月（霜月）：収穫祭、七五三
第 12 回	十二月（師走）：冬至、年越し
第 13 回	一月（睦月）：お正月、七草がゆ
第 14 回	二月（如月）：節分
第 15 回	三月（弥生）：桃の節句
第 16 回	筆記試験

到達目標

日本人の感性を育んできたさまざまな文化的習慣を知ることによって、日々の生活により季節感と心の豊かさを感じられるようになる。保育者をめざす学生は、日本の四季折々の行事や、子どもの成長や人生の節目を祝う行事を知って、自らの保育観や子ども観を深め、幼稚園・保育所における行事や日々の生活に役立てられるようにする。

履修上の注意

出席を重視します（毎回、テーマに関するビデオを視聴するため）。

配布資料をファイルしてください。

予習復習

予習課題（テキストの該当ページを読んで授業に臨む）復習課題（ワークシート発展課題に取り組む）を行ってください。

評価方法

授業への参加度３０％、授業の課題40％、筆記試験３０％

テキスト

新谷尚紀　監修『晋遊舎ムック　日本のしきたりがまるごとわかる本』晋遊舎